

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 3日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	外部の人達にグループホームの職員を分かってもらえるように広報などに情報を掲載したほうが良い。	ホームの職員を外部の人達にわかってもらう。	4月発行の広報から職員の写真を掲載していく。	1ヶ月
1	7	不適切なケアとは何かを考え、職員一人一人の意識の違いや捉え方の違いがあり、入居者様一人ひとりに合った支援がユニットとして出来ない。	大きな声や、一方的な説得といった関わりを見直し、一人一人がケアの方向性を理解し、統一した意識のもとでケアを行なうことができる。	毎月のユニット会議の中で、その人にあった適切な関わりとは何か？についてセンター方式のEシートを用いて根拠に基づいたケアに結び付けられるように取組を行なう。	12ヶ月
2	13	各職員の力量、経験に応じた教育が充分出来ておらず、状況に応じた判断を行い、自分で考え行動に移せる職員が少ない。	職員一人ひとりが考えや意見を持って自発的に行動する事で責任感と自信を持ち仕事をこなせることができる。	毎日のユニットの流れを職員が全員把握し、優先順位に合わせて臨機応変に対応できるよう朝の時点での組み立てを年数の職員が役職・先輩職員のアドバイスのもと実施する。	6ヶ月
3	10	入居者様の状態や意見を踏まえての改善策が継続しきれていない。	担当者が中心となり入居者様の変化や状況に合わせて常により良いケアができているのか評価を行なえるとともにユニットとして支援の継続を行なっていくことができる。	毎月のユニット会議で担当者からケアに関する気づきや視点などについて発信する事で職員への意識付けを行いケアの継続を実施する。	12ヶ月
4	19	担当以外にご家族様と関係を築けている職員が少ない。	ご家族様の来訪時は職員が挨拶だけではなく日頃の状況報告やケアについての相談などの会話をすることができる。	ご家族様が来訪された際は笑顔で挨拶を行い、近況報告などを含めて会話するようにしている。お帰りになられる際も心を込めて挨拶を行う。	6ヶ月
5	31	連携医療機関の看護師との連携が職員全員行なえていない。	現状で入居者様が直面している状態変化に応じて、必要時は看護師にポイントを絞り、相談することができる。	看護師への状況報告方法を含め、何にポイントを当てて報告や相談をする事が適切か毎週の健康管理時に職員へ健康管理の結果と共に伝達し、実行に移していく。	12ヶ月
6	34	緊急、救急時、防災マニュアルを整備しているが、全職員が対応できていない。	緊急対応の必要性を職員が理解し、緊急時にマニュアルに則った適切な対応が出来る。	緊急時に、マニュアルにのっとった適切な対応が出来るよう、社内研修を開催している。また、ユニットとして、個人として必要時に対応することができるよう職員に救急対応、急変時についての必要事項などの確認を行なった上で行動に移せるようにする。	12ヶ月
7	8	権利擁護など制度に関して理解している職員が少ない。	職員が権利擁護を理解し、どのようなものが簡単に説明することができる。	権利擁護精度とはどういうものか社内研修を通して行い、ユニット内で内容を振り返られるようにユニット会議の議案に盛り込んで職員の理解を深める事が出来るよう働きかける。	6ヶ月
8	29	主に隣2軒との交流を深めたいが、日常的に入居者様や職員が関わる事が少ない。	行事や回覧板を届ける時のみに限らずに日常的に挨拶を交わしたり会話が行なえる。	行事へのお誘いだけでなく、日常的に関わりを持つ事が出来るよう、挨拶や回覧板等で関係作りを行なえるようにする。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。